

市職員数の変化と 働き方改革について

必要な行政サービスを維持・継続するための 業務の効率化、体制づくりを

人口減少によって税収が減り、労働人口が減少することによる働き手不足が進むと、市の職員数の維持が厳しくなることが予想されます。

社会の変化によって市職員の業務は多様化、複雑化してきています。採用のための業務を効率化し、より優秀な人材を確保するため、職員採用のポータルサイトの使用を開始します。また、業務を効率化し、働きやすい環境づくりを進めて、少ない人数でも必要な行政サービスを維持することが求められます。市では、デジタル決済の利用などで効率化を行うとともに、業務の見直しや組織改革に取り組んでいます。



業務効率化のため開庁時間を変更

カスタマーハラスメント対策として名札の変更、長時間労働の解消のため7月からの開庁時間を9時から16時30分に短縮するなどの改革も始まっています。

市民の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

こども家庭センターについて

設置と役割について市民に周知し、 相談しやすい環境づくりを

4月からコミュニティセンター内にこども家庭センターが設置されました。

母子保健と児童福祉の機能の連携や協働をさらに深め、一体的な支援をすることで、子育てに困難を抱える家庭に切れ目なく支援を実施し、地域全体で継続的に家庭を支える体制を強化する役割を持っています。健康課の保健師と連携するため、コミュニティセンター内に設置されました。子育て中の保護者が困った際の相談窓口となり、様々な課題を抱えた子育て家庭への支援を行います。

こども家庭センターが設置されたことを市民に周知し、困ったときの相談先として認知されるよう努めて欲しいと考えます。



安心して妊娠・出産・子育てができるよう、保健師が相談に応じる窓口です。不安やストレスを抱えていたり、悩んだり困ったりした時は、ひとりで抱え込まずにご相談ください。

■館山小学校統合改修工事について

令和9年度から、館山小学校と豊房小学校、西岬小学校が統合するため、老朽化した校舎の修復など、館山小学校の改修工事が行われます。白幡興業株式会社と16億2,206万円で工事請負契約が締結されました。

補正予算について

●重点支援地方交付金費(不足額給付)・・・8,450万円

昨年度行われた所得減税の際、給付の対象にならなかった人で、所得確定後に給付資格が判明した人への対応

●飼料高騰緊急支援給付金・・・2,456万円

飼料高騰により経営が圧迫されている市内の畜産農家14軒に対し、支援金の給付

●コミュニティ医療推進活動支援補助金・・・309万円 ふるさと納税を活用した安房医療専門学校への支援

●窓口キャッシュレス決済サービス導入費・・・170万円 市の窓口でキャッシュレス決済サービスを導入

おわりに



イスラエルのガザへの攻撃が終わらないまま、イランとの報復合戦が始まり、ロシアとウクライナの戦争は続いていて、インドとパキстанは軍事衝突するなど、世界のあちこちで争いがおこり、多くの人たちの命と暮らしが奪われています。戦争を終わらせるといったトランプ大統領がさらに混乱を激

化させる結果を招いています。

戦争が悲惨で、その下で多くの人たちが傷つき悲しむ様子を、私たちはテレビ画面を通して見ます。なぜ戦争が起きるのか、日本が戦争に巻き込まれないためにはどうすればよいのか、改めて考えてみましょう。

